

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人 九曜会 たかね園		公表日		令和7年 3月 3日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		2	3	・次年度の人員配置の増員を検討してもらっている。	・出勤状況により不足していることがある。 ・休日などの日に職員数がそろっていないと目が行き届いていないと感じることがある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		2	2	・身体に障害がある方への配慮やプライバシーへの配慮ができるように環境を整えている。	・男性トイレの奥に女性トイレがあり、プライバシーに不安を感じる。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		・ふすまで仕切りを作って個室として使えるような配慮をしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		3	1	・毎月のミーティングで振り返りを行うとともに、目標設定に職員が広く関われるようにする。	・振り返りの機会が少ないように感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5			・ご家庭からの要望は職員間で共有をしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			2	・外部評価を受ける機会が作れるようにする。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		3	1	・全職員がより多く学べる機会を作っている。	・外部の研修を受ける職員に偏りがあるように感じる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		3	1	・公表予定	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		3	1	・全職員に周知し、共通理解を持てるように検討していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1	2	・児童のアセスメントの共有や共通理解が持てるように、回覧できるものを作成する。	・一人一人の児童に対するの分析や情報共有が不足しているように感じる。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4	1	・支援プログラムに則って、立案していく。	・ほとんど一人でやっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		5	・特記事項などがあつたときには、職員間で使用しているノートを使用して情報共有を図っていく。	・日々の打ち合わせは行っていませんが、必要に応じて打ち合わせをしています。 ・ミーティング等で話し合われているが、日々の場面では行ってない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	・特記事項などがあつたときには、職員間で使用しているノートを使用して情報共有を図っていく。	・日々の打ち合わせは行っていません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	2	・放課後等デイサービスガイドラインを周知できるようにする。	・4つの基本活動を理解していません。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	3	1	・場面に応じて自己決定支援を心がけている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・必要に応じて連携をとれるような体制を構築していく。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・各学校の連絡会などは積極的に参加している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	・必要に応じて連携をとれるような体制を構築していく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・必要に応じて連携をとれるような体制を構築していく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1		・実施の有無が不明です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	・他の子どもと活動する機会について、保護者と協議していく。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		2	・放課後等デイサービス連絡協議会などから情報収集をしていく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・連絡帳や自宅送迎時に保護者とお話する機会を持っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	・保護者交流会を継続的に行っていく。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	・保護者交流会を継続的に行っていく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3	・SNSの活用で事業所を知ってもらえるような取り組みをしていく。	・時代に合わせた情報発信ツールを検討するべきかと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・マニュアルについて全員が回覧できるように整備する。	・マニュアルの所在の周知がされているのか不明です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1		・アレルギーの児童がいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	・保護者に周知できるように文章にて配布していく。	・よくわからない ・実施の有無が不明です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				